



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 高島株式会社
 コード番号 8007 URL <http://www.tak.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 高島 幸一

(氏名) 山田 陽

TEL 03-3567-0755

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,211	0.4	144	62.2	153	98.8	76	—
23年3月期第1四半期	17,137	12.2	88	—	77	—	0	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 111百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	1.68	—
23年3月期第1四半期	0.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	31,775	7,830	24.6
23年3月期	32,391	7,810	24.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,830百万円 23年3月期 7,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	—	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	37,000	0.9	360	△0.6	310	1.0	180	4.0	3.98
通期	76,000	0.7	750	13.2	750	13.8	450	15.4	9.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	45,645,733 株	23年3月期	45,645,733 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	385,951 株	23年3月期	384,187 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	45,259,782 株	23年3月期1Q	45,276,630 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの混乱により4月及び5月は停滞状態に陥りました。6月にはサプライチェーンの回復は順調に進み、生産には回復基調が見られ、輸出、生産、設備投資ともに持ち直しの動きがみられたものの、急激な円高の影響や原油価格の高騰などから力強い回復はまだ見られていません。

このような環境の下、当社グループも震災の影響により商品供給面での制約や物件の着工遅れにより、建材事業では売上が減少いたしました。一方、産業資材事業では繊維資材関連分野などの復興需要及び震災後の環境商材の需要拡大により売上が増加した結果、全体では売上が微増となりました。

このような結果、当社グループの当期における売上高は17,211百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益は144百万円（前年同四半期比62.2%増）、経常利益は153百万円（前年同四半期比98.8%増）、四半期純利益は76百万円（前年同四半期は0百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

当セグメント売上の3割以上を占める太陽エネルギー関連分野では、前年度の補助金が3月中旬に予算切れした影響により受注残が少なかったため4月及び5月は減少いたしました。国や自治体からの補助金や再生可能エネルギーに対する関心の高まりから需要が拡大し、売上は微増となりました。一方、断熱材関連分野や土木関連分野においては主力商品の商品供給不足の影響から売上が減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は10,780百万円（前年同四半期比4.8%減）、セグメント利益は20百万円（前年同四半期比68.7%減）となりました。

②産業資材

繊維資材関連分野の売上が復興需要などにより増加しました。また、電子部品・省エネ照明などの売上も増加しました。一方、工業製品、特に自動車関連や家電向けの樹脂製品資材関連分野の売上は、震災による生産調整の影響を受け減少しました。また、車輛部材関連分野は海外向売上が減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は6,374百万円（前年同四半期比10.7%増）、セグメント利益は101百万円（前年同四半期は4百万円の損失）となりました。

③不動産賃貸

中京地区における賃貸不動産需要の低迷により、売上が減少しました。当セグメントの売上高は55百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益は22百万円（前年同四半比17.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末は、流動資産は23,853百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。主な要因は、商品が太陽光パネルの調達等により403百万円増加し、一方で受取手形及び売掛金が回収されたことにより1,572百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は7,922百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。主な要因は、基幹システムの構築により無形固定資産が55百万円、投資有価証券が時価上昇等により57百万円増加し、一方で震災関連で回収懸念が生じた債権の回収が進んだこと等により投資その他の資産が67百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は18,487百万円（前連結会計年度末比2.7%減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が344百万円減少、未払法人税等が納税により107百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は5,457百万円（前連結会計年度末比2.1%減）となりました。主な要因は、償還により社債が50百万円、返済により長期借入金35百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は7,830百万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の時価上昇により37百万円、利益剰余金が四半期純利益の計上で76百万円増加し、一方で、利益剰余金が配当金の支払により90百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,432百万円となり前連結会計年度末と比べ491百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動における資金の増加は、633百万円(前年同四半期は627百万円の減少)となりました。主な要因は、回収が進んだことによる売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動における資金の減少は、48百万円(前年同四半期は45百万円の減少)となりました。主な要因は、前期に取得した有形固定資産の支払いによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動における資金の減少は、91百万円(前年同四半期は485百万円の増加)となりました。主な要因は、社債の償還、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表した当初予想を修正しております。詳細は、平成23年8月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、未だ不透明な要素が多いため、平成23年5月12日に公表した当初予想を現時点では据え置くことといたしました。修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,940	3,432
受取手形及び売掛金	17,484	15,912
商品	2,444	2,879
未成工事支出金	461	429
その他	1,230	1,316
貸倒引当金	△121	△117
流動資産合計	24,439	23,853
固定資産		
有形固定資産	3,596	3,577
無形固定資産	133	189
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505	2,561
その他	1,945	1,752
貸倒引当金	△229	△158
投資その他の資産合計	4,222	4,155
固定資産合計	7,952	7,922
資産合計	32,391	31,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,961	16,616
短期借入金	670	721
未払法人税等	147	39
賞与引当金	264	125
その他	964	984
流動負債合計	19,008	18,487
固定負債		
社債	350	300
長期借入金	2,655	2,620
退職給付引当金	594	574
その他	1,974	1,962
固定負債合計	5,573	5,457
負債合計	24,581	23,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	1,465	1,451
自己株式	△71	△72
株主資本合計	7,021	7,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	197
土地再評価差額金	783	783
為替換算調整勘定	△154	△156
その他の包括利益累計額合計	788	824
純資産合計	7,810	7,830
負債純資産合計	32,391	31,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	17,137	17,211
売上原価	15,657	15,664
売上総利益	1,480	1,546
販売費及び一般管理費	1,392	1,402
営業利益	88	144
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	33	38
持分法による投資利益	1	0
その他	10	17
営業外収益合計	57	68
営業外費用		
支払利息	23	22
手形売却損	6	8
為替差損	22	26
その他	16	1
営業外費用合計	69	59
経常利益	77	153
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	—
償却債権取立益	—	4
特別利益合計	4	4
特別損失		
投資有価証券評価損	51	5
関係会社清算損	—	8
特別損失合計	51	13
税金等調整前四半期純利益	30	144
法人税、住民税及び事業税	12	29
法人税等調整額	17	39
法人税等合計	29	68
少数株主損益調整前四半期純利益	0	76
少数株主利益	—	—
四半期純利益	0	76

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	0	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	37
為替換算調整勘定	△16	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	△222	35
四半期包括利益	△222	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222	111
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30	144
減価償却費	32	37
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△130	△139
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15	△19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△99	△74
投資有価証券評価損益 (△は益)	51	5
関係会社清算損益 (△は益)	—	8
受取利息及び受取配当金	△45	△50
支払利息	23	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△601	1,559
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,058	△405
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,024	△339
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49	△15
その他	272	7
小計	△567	740
利息及び配当金の受取額	45	47
利息の支払額	△22	△22
法人税等の支払額	△83	△131
営業活動によるキャッシュ・フロー	△627	633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20	—
有形固定資産の取得による支出	△26	△61
有形固定資産の売却による収入	10	0
投資有価証券の取得による支出	△49	△1
投資有価証券の売却による収入	3	—
貸付けによる支出	—	△1
貸付金の回収による収入	8	4
その他	△10	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	42	56
長期借入金の返済による支出	△10	△35
社債の発行による収入	500	—
社債の償還による支出	—	△50
配当金の支払額	△42	△59
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	485	△91
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189	491
現金及び現金同等物の期首残高	4,027	2,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,837	3,432

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	11,318	5,759	59	17,137	—	17,137
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	11,318	5,759	61	17,139	△2	17,137
セグメント利益又は損失(△)	65	△4	26	87	0	88

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	10,780	6,374	55	17,211	—	17,211
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	10,780	6,374	57	17,213	△2	17,211
セグメント利益	20	101	22	144	—	144

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。